

『土湯アラフドアートアニュアル 2013』 展開催



会期：2013年9月6日～10月14日

展覧会概要

「土湯アラフドアートアニュアル 2013」では、土湯温泉町民・こけし工人・芸術家・研究者を交え、言語だけではない対話を試みようとしています。

土湯温泉町は、国立公園の中にあります。212世帯432人が住み、小学校に通う児童は13名。福島市の中でも高齢化が一番進んでいる、山あいにある小さな温泉町です。アラフドとは、新雪を踏み固め道筋をつくるという福島の方言。国内外30組以上の芸術家や研究者などが参加します。

2011年3月11日東北地方を襲った大きな地震はその後、原発事故へとつながりました。土湯温泉町の放射線量は山間の地形もあってか福島市の中でも低く、県内の方々の憩いの場となっていますが、震災以前は16軒あった温泉宿も現在は11軒。3分の1もの旅館が一年という短い時間の中で、見えない被害によって廃業に追い込まれました。地震・津波・放射能・風評被害と様々な問題が東日本を覆っている今、私たちは未来へと何を残していけるのでしょうか。今ある政治や利権にとらわれずに話しあうにはどうすればいいのか。

主な企画内容

- 現代美術家による作品展示、およびワークショップ
- こけしの郷西田記念館との現代美術の共同企画展
- 伝統の土湯こけしのワークショップ
- 様々な対話を試みる『100年後サミット』
- 自然科学研究者と現代美術家の協働
- 社会学や心理学者らによるフィールドワーク
- 女将さんのおもてなし、お茶会 /他

アーティスト紹介 (*作品写真は過去のもので)



[銚井 喬] Takashi Hokoi

1984 年神奈川県生まれ／福島県福島市在住／2008 筑波大学芸術専門学群デザイン専攻卒業／2010 東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。福島県でNHKカメラマンに従事。／2011 東日本大震災に遭いヘリコプターで津波の様子などを撮影。震災前から親しんだ福島を活動の基盤とするため、2013 年 8 月に NHK を退職し、制作活動を中心とする。鳥人間コンテスト出場などの経歴を持ち、風をモチーフにした作品を手がける。

* アラフドアートアニュアルでは女沼や温泉を使い、見えない風を通して風景のあり方を再定義する。

[佐藤一弘] Kazuhiro Sato 1963 年福島市生まれ／土湯温泉町在住／土湯温泉で 80 余年続く写真館の三代目。「お客様の最も大切なひと時を正確に、確実に撮影し記録する」という仕事を祖父の代から三代にわたり続けている。ライフワークとしてビンテージこけしのポートレート写真撮影や郷土史を調べたりする事を好み、プロカメラマンとして消防活動を撮影する傍ら地元消防団活動などでも活躍し地域に必要な人間になろうとしている。

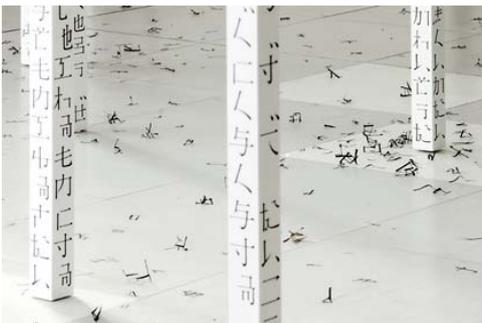
[森田 浩彰] Hiroaki Morita 1973 年福井県生まれ／1998 年 Bゼミスクーリングシステム修了／2002 年ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ MA ファインアート修了。「日常の喜び」水戸芸術館（茨城、2008）、「この世界とのつながりかた」ボードレス・アートミュージアム NO-MA（滋賀、2009）、「風が吹けば桶屋が儲かる： MOT アニュアル 2012」東京都現代美術館（東京、2012）などに参加。

* アラフドアートアニュアルでは、町に混在する人間関係のフィクションとノンフィクションのはざまを描き出す。

[SUIKO] 広島拠点のグラフィティ・アーティスト。2005 年、水戸芸術館で開催された国内初の大規模なグラフィティ展「X-COLOR」に参加。アジア圏はもとより欧米や中東、南米など世界中から招待を受ける。近年では、Walt Disney 社、コカ・コーラ社、アディダス社、ECKO unltd.社などへもアートワークやデザインを提供するなど様々な方向に表現領域を広げ続ける傍ら、グラフィティショップ兼アートスタジオ「dimlight」の代表として地元のストリートシーンの活性化に心血を注ぐ。



* アラフドアートアニュアルでは、廃旅館をペイントで蘇らせる。



[清水 玲] Ryo Shimizu 1977 年香川県生まれ。2010 年第 2 回モスクワ国際ビエンナーレ for Young Art 出展／2011 年 1 月十和田市現代美術館および中心商店街各所にてアノニマスワード企画展 街なか美術館「トワダビト⇔清水玲」出展 等。

* アラフドアートアニュアルでは廃屋を風通しの良い空間へと変様させる。

[吉田 和貴] Takaaki Yoshida 1973 年東京都生まれ／東京都在住／東京総合写真専門学校研究科卒／2010 yosidak+Taxxaka 二人展「しかし、いずれの場合においても」アブラウリ（東京）など。

* アラフドアートアニュアルでは特殊な方法で町の地図を描き、小さな町の多様性を表現する。

[葛谷 允宏] Nobuhiro Kuzuya

1981 年 愛知県一宮市生まれ／2006 年金沢美術工芸大学 油画専攻 卒業／2008 年東京芸術大学大学院 壁画専攻 修了／日本にとどまらずタイやバンコクなどでも展覧会を開催。世界中から若いアーティストが集まる借家「拝借景」の借主であり、展示や LIVE、各種イベントが定期的に行われるアートスペース「コンフリ」の主催者兼料理人でもある。* アラフドアートアニュアルでは廃業になったスナックで食にまつわる展示をする。

[下野 友嗣] Yuji Shimono 1984 年兵庫県生まれ／2007 年 大阪芸術大学 美術学科卒業／熊やイノシシ、妖怪など 古来人間がヤオロズの神とも祀ったものをモチーフに、腐食技術を用いた絵画の制作。現在は関西を中心に活動。

* アラフドアートアニュアルでは廃旅館で絵画を展示。

[山田 浩之] Hiroyuki Yamada 1970 年兵庫県篠山市生まれ。陶芸家。東日本大震災により被災された方に、人間の生活の根幹を成す「食」の場へ心のこもった器を提供することで、少しでも豊かな生活を取り戻すために始めた『一汁一菜の器プロジェクト』や、活動拠点の信楽町の文化をつくる『信楽 ACT』のディレクターなど陶器制作にとどまらない活動を展開。* アラフドアートアニュアルでは陶器製の『つち大根』の無人販売所を設置。

[泰平] Taihei

本名：施井泰平／現代美術家／startbahn 代表／東京大学大学院学際情報学府（馬場研究室）所属／ユカリアート所属／1977 年東京生まれ、米国育ち。「インターネットの時代のアート」をテーマに、ウェブ上のプロジェクトと並行してギャラリーや美術館など、実空間での展示も行う。現在は東京大学にて SNS 経済圏と文化経済学にまつわる研究を行なっている。* アラフドアートアニュアルでは光を使ったインスタレーションを予定。

[山本 高之] Takayuki Yamamoto 美術作家。こどものワークショップをベースとした映像作品を国内外で制作・発表。主な作品に、動物園で動物の生活ぶりを歌う「どうぶつたちの一週間」や、こどもが新しい占いを考え実践する「きみの未来をおしえます」など、こどもの創造的な感性を通じ、人が創り出す特殊な社会制度や習慣をシニカルに描く作品を展開している。



[清水 総二] Souji Shimizu 1983 年三重県生まれ／東京造形大学グラフィックデザイン専攻中退後、筑波大学芸術専門学群卒業／2012 年 WAREHOUSE PROJECT (横浜)／Tokyo Midtown Smoking Gallery Project (ミッドタウン 21F、六本木)／BankART AIR Program (横浜)／2011 年 ARTIST in DANCHI (りえんと多摩平、東京)／中之条ビエンナーレ 2011 (群馬)／TEGAMI -Perspektiven japanischer kunstler (ハンプルク、ブエノスアイレス、ベルリン) など。

[泥沼コミュニティ] (榎本浩子、沼下桂子、萩原綾乃) Doronuma-Community 2012 年 3 月から、アートイベントなどで出会った人々が、ある場所に集まってお酒や食事を楽しみながら展覧会をはしごする「泥沼トラベル」を開始。滞在型の「泥沼荘」や「泥ーイング」などに活動を展開し、その都度集まったメンバーによって試験的にイベントを実施している。* アラフドアートアニュアルでは女沼周辺にてプロジェクトを行う。

[浅沼 知明] Tomoaki Asanuma 1956年群馬県生まれ／中之条ビエンナーレ 2011に出品するなど、芸術活動を行う一方、アウトドアスクール運営などレクリエーションスポーツの普及と次世代育成に力を注ぐ。パラグライダーでアネハヅルとヒマラヤ山脈を超える試みは、NHK『生きもの地球紀行 ネパール ツル』に収めらる。

[福永 敦] Atsushi Fukunaga 1980年 広島生まれ／ドイツ・ベルリン在住／2004 広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了／2007年 ベルリン・バイセンゼー美術大学研究生／2009年 広島市立大学芸術学部現代表現領域協力研究員 2009年度前期／2012「Cosmos」Galerie 5th people project ベルリンドイツ／2011 「Nippon Nacht vol.2」Theaterhaus Berlin Mitte ベルリン ドイツ／「中之条ビエンナーレ 2011」群馬県中之条町／「Durchgang」 48 Stunden Neukoelln ベルリン ドイツ／2010 「WE ARE THE ISLANDS」 Kunstraum Kreuzberg Bethanien ベルリン／「almost the same, but not quite」 48 Stunden Neukoelln ベルリン ドイツ。オノマトペなど音をモチーフにした言語にとらわれない作品展開をしている。

[松枝 美奈子] Minako Matsueda 大阪生まれ東京在住／1991年 東京造形大学 卒業／2009/2011年 中之条ビエンナーレ (群馬県)／2012年 Gallery KINGYO (東京)、第15回 我孫子国際野外美術展 (千葉県)。*アラフドアート アニュアルでは廃屋で祈りをモチーフにした展示を行う。

[幸田 千依] Chie Kouda 1983年、東京生まれ。2007年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。*アラフドアート アニュアルでは公開制作で絵を描きながら、町の人々とのふれあいを大切にする。

[鈴木 悠太] Suzuki Yuta 1984年・福島県生まれ、仙台在住／Yotsuya Art Studium 岡崎乾二郎ゼミ修了／Objective Correlative で写真作品を発表。

[東城 信之介] Sinnosuke Tojo 1978年長野生まれ、神奈川在住／2004 東京造形大学美術学科比較造形卒業／2005 東京造形大学研究生修了／2005 第三回山本鼎版画展 佳賞受賞／2006 モダンアート明日への展望展 俊英作家賞受賞 他入選多数／2012 YAJ デザイナーズウィーク グランプリ受賞

その他、調整中のアーティストが複数名

自然科学の研究者との協働



[阿部乳坊] Nyubo Abe 1982年新潟県上越市生まれ／2007年金沢美術工芸大学美術科彫刻専攻卒業／台北国際藝術村などで滞在制作を行いながら、東京ワンダーサイトや金沢美術工芸大学などで作品を発表。

*アラフドアートアニュアルでは遺伝子研究の高橋 明大 (国立遺伝学研究所)、奥本 素子 (総合研究大学院大学 学融合推進センター 助教)らと共に茶室をつくる。その他、総合研究大学院大学が所蔵するアーティストの研究者の協働作品も展示予定。

伝統の土湯こけし工人によるワークショップ



こけし工人による、伝統の「土湯こけし」制作のワークショップ。

こけしは、東北で生まれ育った歴史と伝統を持つ工芸品。地域別に系統をつけ、各地の地名で呼ばれています。土湯を含め 11 系統。いずれも温泉地が発祥です。普段は一般公開していない、こけし工人の工房を一般公開し、観客は地図を持って土湯温泉町に点在するこけし工房を見て回れます。顔を描く絵付け体験だけにとどまらず、初めての試みとして、木の切り出しからこけし作り体験を二泊三日かけて行います（予約制）。こけし工人さんの工房で直接こけし作りが習える貴重な体験となることでしょう。

原郷のこけし群 西田記念館との現代美術共同企画・3名

[水川 千春] Chiharu Mizukawa

1981 年大阪生まれ 移動しながら各地で滞在制作を行う。人の入った後の残り湯や河川の水などを使ったあぶり出したり、残り湯での宝石の制作など、人間の捨て去った痕跡から新しい価値を作る。*アラフドアートアニュアルでは、描いている時は透明で見えないが、火で炙りだすと、水の中のものが焦げでて絵が浮き出てくる、あぶりだし絵を制作予定。



[祐源 紘史] Hirofumi Yugen 1979 年 岡山生まれ / 2004 年 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科卒業 / 2005 年 ドイツ、ハノーバー専科大学留学 / 2006 年 広島市立大学大学院芸術学研究科造形計画専攻修了 / 「広島アートプロジェクト」(広島市各所、2007 / 2008 / 2009 / 2010) / 「食と現代美術 part6」(BankART1929、横浜、2010) / 「ゼロダテ/大館展 2010」(大館商店街、秋田、2010)、2013 年『最初の食事が死の始めである』 Gallery t など。

[ピメリコ] Pimerico 1975 年 静岡県生まれ 活動拠点 東京 / ロンドン / 慶応義塾大学 環境情報学部卒業後、ロンドンに渡り、ロンドン大学 ゴールドスミスカレッジ ファインアート(BA)学部卒業後、ロンドン芸術大学 チェルシーカレッジ ファインアート(MA)修士課程修了 / 映像、立体、インスタレーション、コスチュームを用いたパフォーマンスなど様々なメディアを用いて、女性のアイデンティティや現代社会について探求する作品を制作している。



現代美術家による、こけし絵付け

安東和之 / 笠原出 / 清水 玲 / 清水総二 / 嶋津晴美 / 下野友嗣 / 泥沼コミュニティ / 藤林 悠 / ピメリコ / まつながえみ / 三田村光土里 / 水川千春 / やまだあやこ / 祐源紘史 / 吉本伊織 /

4月に先立って行われた「こけし祭り」で披露した、現代美術家によるこけし絵付けを展示する(写真: やまだあやこ作)。

その他のワークショップ



[CAMP] アーティストやキュレーター、ディレクター、批評家、研究者、学生などに関わりながら、トークイベントや展覧会、パーティーなどを開催。 *アラフドアートアニュアルでは、開催前（7月13・14・15日）、開催中（9月6・7・8日）、開催後（11月15・16・17日）と3度に渡りトークイベントを展開する。

こども・ビジネスモデルキャンバス

[河野 良治] Ryoji Kono（長野大学 企業情報学科 准教授）イノベーションの担い手としてのベンチャー企業の経営と地域／起業家教育について研究。

*アラフドアートアニュアルでは、福島県の子どもを対象として土湯を一つの企業と見立てた『こども・ビジネスモデルキャンバス』を開催予定。



つちゆフィールドワーク

[北田 暁大] Akihiro Kitada（東京大学 大学院 情報学環 准教授）広告などを対象として日本のメディアの現在を分析している。専門は理論社会学・メディア史。

*アーカイブ研究の逢坂裕紀子（東京大学大学院 学際情報学府博士課程）、東京大学の情報学環教育部の学生とともに、アートが地域に及ぼす影響等を調査し、アラフドアートアニュアルのカatalogづくりに関わる。また8月下旬には東京では本展を軸に、震災後の地域のあり方、芸術のあり方を話し合うシンポジウムを企画している。

『100年後サミット - 福島県の小さな町で起こりつつあるアート - 』

8月31日（土）17:30 会場 18:00 開演 [会場] 東京大学 情報学環・福武ホール・ラーニングルーム

出演者等についてはお問い合わせください。contact@arafudo.net

[神野 真吾] Shingo Jinno（千葉大学 教育部 准教授）芸術学、アート・マネジメントを専門とする。

*アラフドアートアニュアルでは、縣拓充（日本学術振興会・千葉大学）、千葉大学教育学部芸術学研究室、千葉アートネットワーク・プロジェクト（WiCAN）らと共に、アーティストの調査に関わる。

「福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo」の協賛企画

[村上 史明] Fumiaki Murakami（筑波大学人間総合科学研究科芸術学系 助教）

*筑波大学の創造的復興プロジェクトによるワークショップ『浮かぶまち』を土湯小学校で開催予定。

[開発好明] Yohiaki Kaihatu *東日本大震災地域のためにアートによる心の繋がりを、トラックに詰め込み運ぶ「デイリリー・アート・サーカス」を土湯小学校で開催。予定。

展覧会情報

展覧会名	土湯アラフドアートアニュアル 2013
会 期	2013 年 9 月 6 日~10 月 14 日
開館時間	各会場に依る。廃旅館・廃屋は 9 時~17 時まで
会 場	土湯温泉町各所／旅館、おみやげ屋、廃旅館、廃屋、女沼周辺等
休館日	各会場に依る、廃旅館、廃屋は休館日なし
主 催	つちゆ芸術万華郷実行委員会
観覧料	無料／温泉や店舗により入場料が必要な場合も有り
関連イベント	会期中、講演会やディレクターによるギャラリーツアーなどイベントを予定しております。詳細は決まり次第アラフドアートアニュアルのホームページや twitter、Facebook ページなどでご案内いたします。
ホームページ	http://arafudo.net
交通案内	東北新幹線福島駅下車、福島駅東口バスターミナル(のりば7)より福島交通『土湯温泉行き』バスに乗り約 4 5 分、終点土湯温泉で下車。 又は福島駅西口よりタクシーで 2 5 分
お問い合わせ	<p>contact@arafudo.net</p> <p>元気アップつちゆ事務局内「つちゆ芸術万華郷実行委員」 福島県福島市土湯温泉町字下ノ町 17 電話：050-5857-8454 (ユミソン) / fax：024-573-1857</p> <p>土湯温泉観光協会 福島県福島市土湯温泉町字上ノ町 1 / 電話：024-595-2217</p>
企画	<p>実行委員長 加藤 貴之 (土湯温泉観光協会 青年部長)</p> <p>ディレクター ユミソン (現代美術家)</p> <p>事務局 (土湯温泉観光協会事務局) 池田 和也／後藤 京子／宮本 和之</p> <p>実行委員 (土湯温泉観光協会 青年部) 佐久間 輝／佐久間 智啓／今泉 強／阿部 国敏／相模 崇寿 ／渡辺 隆文／渡邊 利生／渡邊 樹璃案</p>